

授業科目名	慢性看護Ⅰ			担当教員	中村 光江、山本 孝治	
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	30 (2)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	各ライフステージにわたる、慢性疾患とともに生きる人を理解するための概念を学習する。					
到達目標	1. 慢性病の特徴と生活への影響を理解できる。 2. 慢性病とともに生きる人への理解や看護を支える理論や概念を理解できる。 3. 慢性病とともに生きる人とその家族へのアセスメントの視点や援助方法を理解できる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	慢性病とその治療の特徴 看護の役割	講義	予習：テキスト第Ⅰ章 p.2-36.	1時間	中村	
2	慢性病とともに生きる人とその家族の 身体的・心理社会的特徴 受け入れ過程 自己概念 ゆらぎ	講義	予習：事前配布資料 テキスト第Ⅱ章 p.37-56.	1時間	中村	
3	各ライフステージにおける慢性病 の特徴と影響（特に成人期）	講義	予習：事前配布資料およびライフステージについて復習。	1時間	中村	
4	生活習慣とヘルスプロモーション セルフケアを支える看護 症状マネジメント セルフマネジメント	講義	予習：事前配布資料 テキスト p.57-75.	1時間	中村	
5	慢性病を持つ人の行動変容を 促す支援 エンパワーメント アドボカシー アンドラゴジー 社会資源の活用	講義	予習：テキスト第Ⅲ章 3. p.76-87. 第Ⅲ章 4.p.88-103.	1時間	中村	
6	消化器系障害とともに生きる人 への看護 (1) 胃・十二指腸潰瘍 慢性肝炎・肝硬変・肝臓がん	講義	予習：テキスト第Ⅴ章 3. p.262-293.	2時間	山本	
7	消化器系障害とともに生きる人 への看護 (2) 潰瘍性大腸炎・クローン病 大腸がん	講義	予習：事前配布資料テキスト第Ⅴ章 3. p.294-305.	2時間	山本	
8	慢性病とともに生きる人への理 解 (1) ゲストスピーカー	演習	予習：クローン病の病態生理および生 活への影響。 復習：レポート	1時間	山本	
9	呼吸器系障害とともに生きる人 への看護 気管支喘息 慢性閉塞性肺 疾患 肺がん	講義	予習：テキスト第Ⅴ章 1. p.200-222.	1時間	中村	

10	循環器系障害とともに生きる人への看護 高血圧 慢性心不全 虚血性心疾患 ペースメーカ	講義	予習：テキスト第V章 2. p. 125-132, 223-261,.	1 時間	中村
11	腎機能障害とともに生きる人への看護 慢性腎臓病 腎不全 人工透析	講義	予習：テキスト第IV章 2. p. 115-124, 第V章 5. p.335-345	2 時間	中村
12	慢性の脳・神経系障害とともに生きる人への看護 脳梗塞 パーキンソン病	講義	予習：テキスト第IV章 7. p.398-411.	2 時間	中村
13	慢性病とともに生きる人への理解 (2) 慢性疾患の病みの軌跡モデル	講義	予習：事前配布資料およびテキスト第1章 1. p.6-7. 復習：事後課題提示	1 時間	中村
14	慢性病とともに生きる人への理解 (3) 慢性疾患の病みの軌跡モデル	演習	復習：事後課題提示.	3 時間	中村
15	試験へのフィードバック 科目全体のまとめ	講義 演習	復習：全体の振り返り. 事後課題提示.	2 時間	中村 山本
先行履修科目					
テキスト	鈴木久美, 野澤明子, 森一恵 編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 第2版, 南江堂, 2015.				
参考文献	鈴木志津枝 編：慢性期看護論 第3版. ヌーヴェルヒロカワ, 2014. Woog,P.(ed.)：The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model. 1992, 黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡. 医学書院, 1995. Strauss,A.L.et al. (ed.)：Chronic Illness and the Quality of Life, 南裕子監訳：慢性疾患を生きる. 医学書院, 1987. 林直子 他 編：成人看護学概論 第2版. 南江堂, 2014. Lubkin, I.M. et al. (ed.)：Chronic Illness Impact and Interventions, 黒江ゆり子監訳：クロニックイイルネス. 医学書院, 2007.				
科目の位置づけ	既習の基礎科目を基に慢性病を有する人を対象として看護を展開・応用する科目である。長期間にわたって病気と共に生きる人を理解するための概念や理論を学ぶ。また、その人が健康を維持向上させつつ、自分らしく生きていけるよう、病気をコントロールし合併症を予防する援助の基本を学ぶ。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○			◎	
評価方法	試験 (70%)、レポート (20 点)、授業への参加 (10%) で総合的に評価する。				